地域コミュニティ
広報ほきた
HOKITA COMMUNITY NEWS
第103号
令和7年1月15日
【発行】穂北づくり協議会
☎080-6463-2010 FAX41-1023
全戸配布





一人ひとりがヒーロー、全員が主役

11月10日、穂北小学校（校長 押川由美恵 136名）運動会が同運動場で開催されました。

開催前日の会場設営を省略するなど当日は雨が心配されましたが、日頃の児童の頑張りが天気を味方にしてプログラムは全て無事に行われました。

特に1年生にとっては初めての、6年生にとっては思い出の運動会とあって、保護者の方々もカメラのレンズ越しに我が子の大きな成長を感じている様子でした。

また、応援をはじめ全力を出し切った児童たちは、ヒーローとして過ごした1日を振り返り、充実感にあふれている表情でした。
















ものづくりの楽しさ発見

11月10日をはじめ、穂北小学校、茶臼原小学校（12／15）、穂北中学校（12／13）それぞれの体育館で、子ども未来部会による「ものづくり体験活動」が開催されました。小学校下学年はエイ凧、上学年は六角凧、中学生はしめ縄づくりに挑戦しました。当日、児童生徒に指導できるよう事前に保護者と教職員向けの講習会を経て開催されました。

頭の中に浮かんだアイデアにワクワク顔の児童生徒たちは、試行錯誤しながら自由な発想を「カタチ」にしていました。完成品を手にすると達成感が込み上げた様子で、ものづくりの楽しさを改めて仲間同士で共有していました。

今回の体験と学びがさらなる創造への原動力となるといいですね。なお、完成した凧は小学校の凧揚げ大会に、しめ縄は自宅に持ち帰り新年を迎える玄関などに飾られました。

11/10 穂北小








12/13 穂北中








12/15 茶臼原小








地元の魅力再発見 ほきたふれあい市

11月24日、ふれあい交流部会による「ほきたふれあい市」が開催されました。穂北の農産品など穂北地区館駐車場に15店舗が大集合。ほとんどの店舗で即完売状態となり、売る人も買う人も主役の賑わい市となりました。

このほか、野菜の来場者プレゼントやいきいき健康部会特製の「骨っこドーナツ」のふるまいもありました。





































伝承遊びで世代間交流

10月25日、子ども未来部会と民生委員の方々が、西都ふたば幼稚園の年長組25人と、「おじゃみ」「ゴム跳び」「じんとり」の昔ながらの遊びで世代間の交流を図りました。

おじゃみが出来て喜ぶ子、自分の身長よりも高いゴム跳びに挑戦する子、じんとりでは、陣をとろうと必死にする姿が見られ、陣がとれた時には、みんなで喜んでいました。

昼食には、いきいき健康部会とヘルスメイトの方々が調理した「骨っこカレー」がふるまわれました。美味しかったようで、お代わりをする子どももいました。

同じ時間を過ごし仲良くなったのか、自然発生的に腕相撲が始まったり「長生きしてね」と声をかける子どもがいたりと、終始穏やかな雰囲気と笑い声があふれていました。最後に、地域の方手作りのおじゃみがお土産として一人ひとりにプレゼントされました。





穂北の生命・財産を守る第2分団

10月6日、杉安川仲島公園で消防団第2分団夏季訓練が実施されました。

訓練は西都市消防本部職員の指導のもと、出初式で披露する通常点検及び小隊訓練、加えて火災時に迅速かつ正確な放水を行うためのホースの取扱い方法や中継送水訓練を実施しました。

訓練に参加した団員の皆さんは、実際の火災現場を想定しながら熱心に取り組んでいました。暑い中での訓練お疲れ様でした。

消防団は消火活動だけでなく、地震や風水害などの災害が発生した際の救助活動、警戒巡視、避難誘導など「自らの地域は自らで守る」の精神を基に、地域住民の安心・安全な暮らしを守るよう活動を行っています。

最近では若者の地方離れに伴い、団員のなり手不足が深刻です。災害が大規模かつ複雑化している今、消防団の役割は大きくなっています。この記事をよんだあなた！消防団で地域の安心・安全のために活動してみませんか？





次世代の芸能人はあなた！

11月3日、前号でも紹介した下水流臼太鼓踊が西都古墳まつりにおいて奉納されました。

貴重な奉納とあり、御陵墓前広場には大勢の見物客で賑わいました。しかしながら、国選択、県指定の無形民俗文化財に指定されるこの芸能においても、昨今の人口減少到来により担い手不足は否めないとのことです。

このほど、同踊保存会は下水流地区に限らず穂北地区出身（市外在住可）で歴史ある文化を残していきたいという気持ちをお持ちの方を募ることとしました。先人の努力や過去の経験を学ぶことは、現在の地域課題解決にも繋がるチャレンジかもしれませんね。

少しでも興味がある方は自薦他薦問いません。左記の連絡先までお気軽にお電話ください。

※保存会会長　橋口祐一氏より

４００年以上前から紡いできたこの芸能で、地元穂北の方々とのつながりを大切にしていきましょう。よろしくお願いします。

連絡先：０９０－９５６９－２１８０

（橋口久徳　10時～15時）



